

2020年3月期 決算説明会

2020年4月30日
株式会社 **DTS**

目次

1

2020年3月期 決算概況

2

2020年3月期 主要施策の状況

3

2021年3月期 見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としていますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

1. 2020年3月期 決算概況

1. Nelito Systems Limited の子会社化

2019年6月、金融事業領域でのグローバルビジネス拡大を目的に、Nelito Systems Limited（インド・ムンバイ／以降、本資料では「Nelito」と記載）の株式を追加取得し、新たに連結子会社とした。

同年7月、さらに株式の追加取得を行い、株式保有率は98%超となった。

2. 自己株式の取得

2019年5月、資本効率の向上ならびに株主に対する一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。（約177千株、約8億円）

3. コーポレート・ガバナンスの実効性強化

2019年6月の定時株主総会后、役員13名のうち7名が独立役員となり、過半数を占めることとなった。今後もコーポレート・ガバナンスの実効性確保に努める。

4. 株式分割

2019年7月、株式の流動性向上に向け、普通株式を1株から2株へ分割した。

5. 増配の実施

中期計画目標である総還元性向45%以上の利益還元を実現するため、期末配当を5円増額し、35円とする。（年間配当額は55円）

2020年3月期 連結業績

売上高は、金融分野・法人ソリューション分野の増収、Nelito新規連結・DTC決算期変更含め、前年同期比+79.0億円。

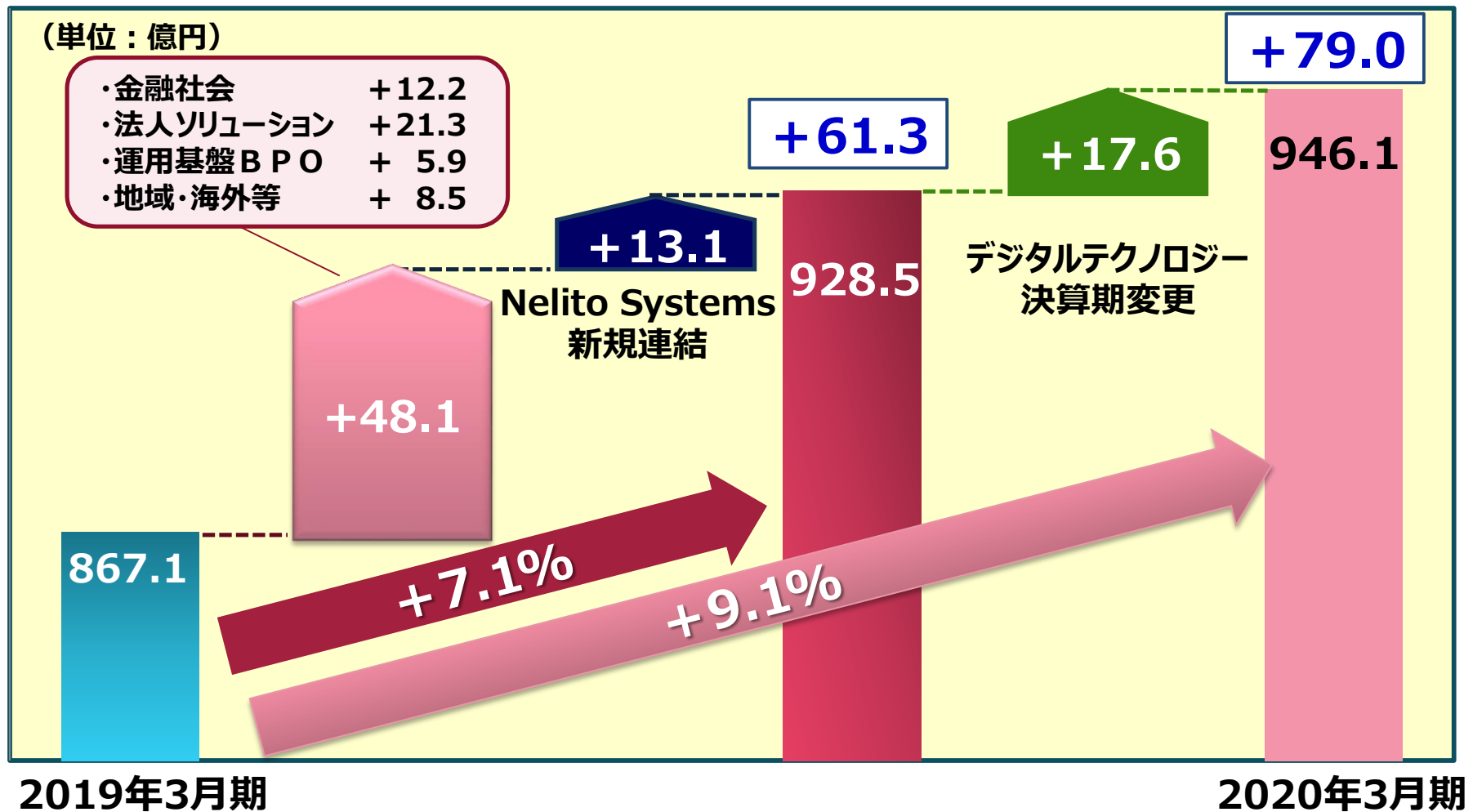
営業利益は、組込み関連分野の前年特需による反動減があったものの、不採算案件の抑制や増収に伴う利益増などにより前年同期比+8.8億円。

売上高、営業利益ともに過去最高を更新。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	946.1 <928.5>	—		+79.0 <+61.3>	109.1% <107.1%>	101.2% ※99.8%
売上総利益	187.0 <184.5>	19.8% <19.9%>	(△0.4pt) <△0.3pt>	+11.8 <+9.3>	106.8% <105.3%>	101.9%
販管費	80.3 <79.0>	8.5% <8.5%>	(△0.4pt) <△0.4pt>	+3.0 <+1.7>	103.9% <102.3%>	96.2%
営業利益	106.7 <105.4>	11.3% <11.4%>	(△0.0pt) <+0.1pt>	+8.8 <+7.5>	109.0% <107.7%>	106.7% ※108.1%
経常利益	108.4 <107.2>	11.5% <11.5%>	(+0.0pt) <+0.1pt>	+9.2 <+7.9>	109.3% <108.0%>	106.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	73.1 <72.2>	7.7% <7.8%>	(△0.1pt) <△0.1pt>	+4.9 <+4.0>	107.3% <106.0%>	106.1%

(参考) 2020年3月期 売上高増減要因

デジタルテクノロジーの決算期変更影響を除いた場合、前年同期比+61.3億円 (+7.1%成長)。



2020年3月期 個別業績

売上高は、金融分野・法人ソリューション分野の増収により、前年同期比+38.3億円。

営業利益は、販管費の戦略的活用による増加を増収に伴う利益増や不採算案件の抑制などでカバーし、前年同期比+7.7億円。

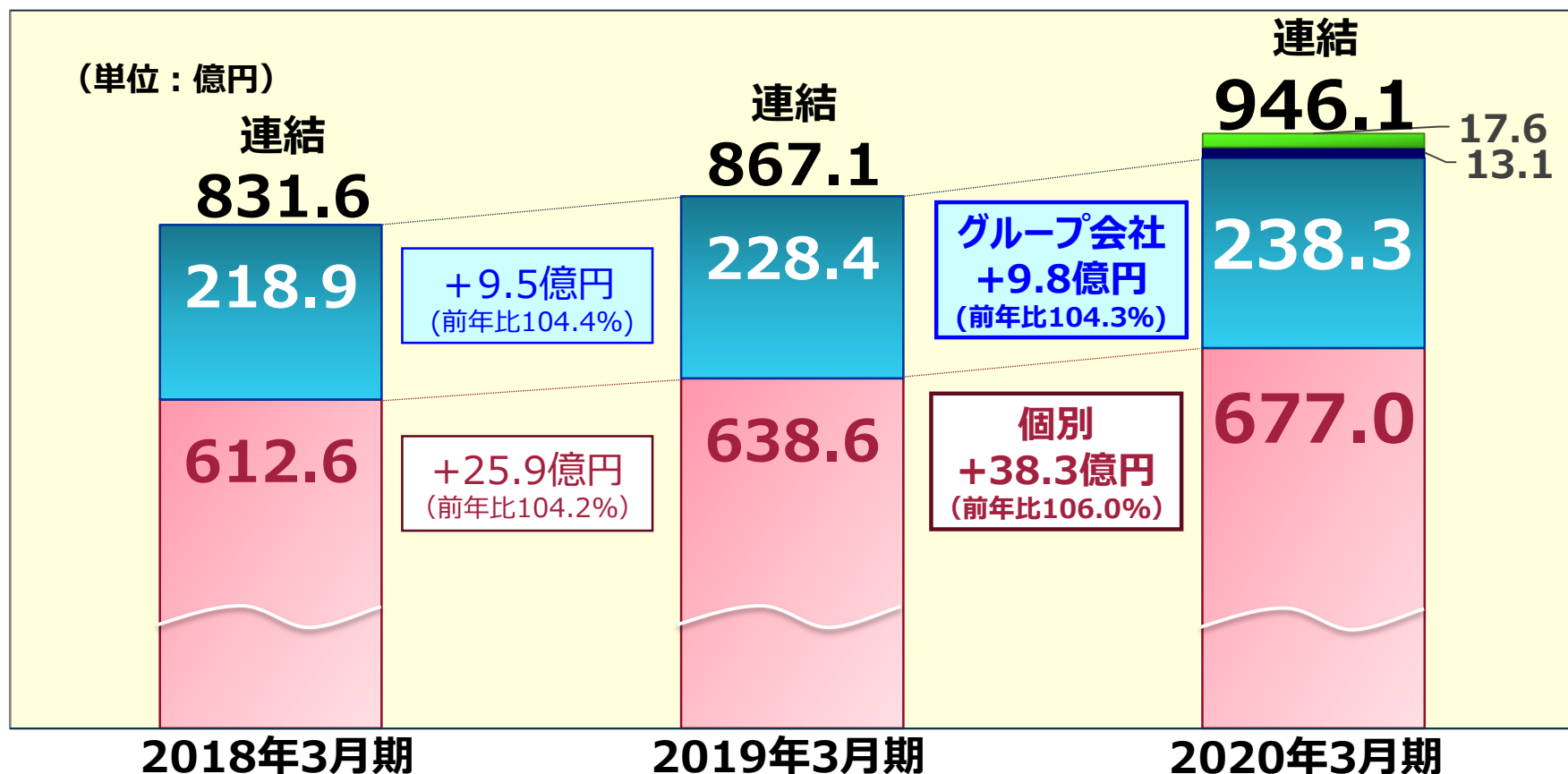
(単位：億円)	実績	売上比（前年同期比）		前年同期比	
売上高	677.0	—		+38.3 <+62.2>	106.0% <110.1%>
売上総利益	136.2	20.1% <20.1%>	(+0.2pt) <+0.1pt>	+8.8 <+13.0>	107.0% <110.6%>
販管費	49.8	7.4% <7.4%>	(△0.3pt) <△0.2pt>	+1.1 <+3.5>	102.3% <107.6%>
営業利益	86.3	12.8% <12.8%>	(+0.4pt) <+0.3pt>	+7.7 <+9.5>	109.8% <112.5%>
経常利益	92.2	13.6% <13.6%>	(+0.7pt) <+0.5pt>	+9.4 <+11.2>	111.4% <114.0%>
当期純利益	64.9	9.6% <9.6%>	(+0.4pt) <+0.2pt>	+6.0 <+7.2>	110.2% <112.6%>

売上高の推移【個別・グループ会社】

個別(DTS)は、政府系金融機関や住宅関連の好調などで、前年同期比+38.3億円。

グループ会社では、地域分野が順調に推移したことなどにより、前年同期比+9.8億円（Nelitoの新規連結・DTC決算期変更を除く）。

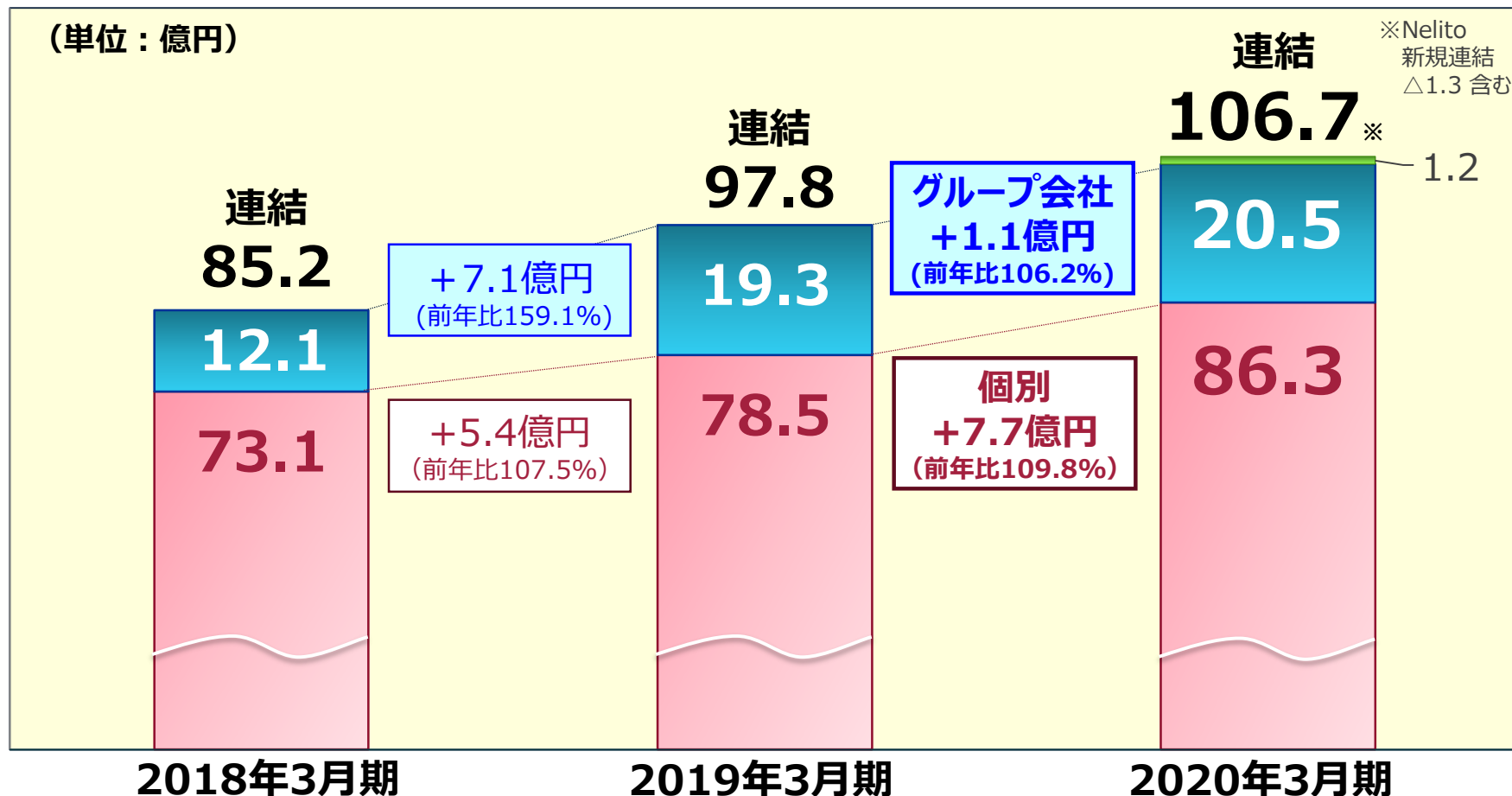
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高（連結調整含む） ■ Nelito新規連結 ■ DTC決算期変更



営業利益の推移【個別・グループ会社】

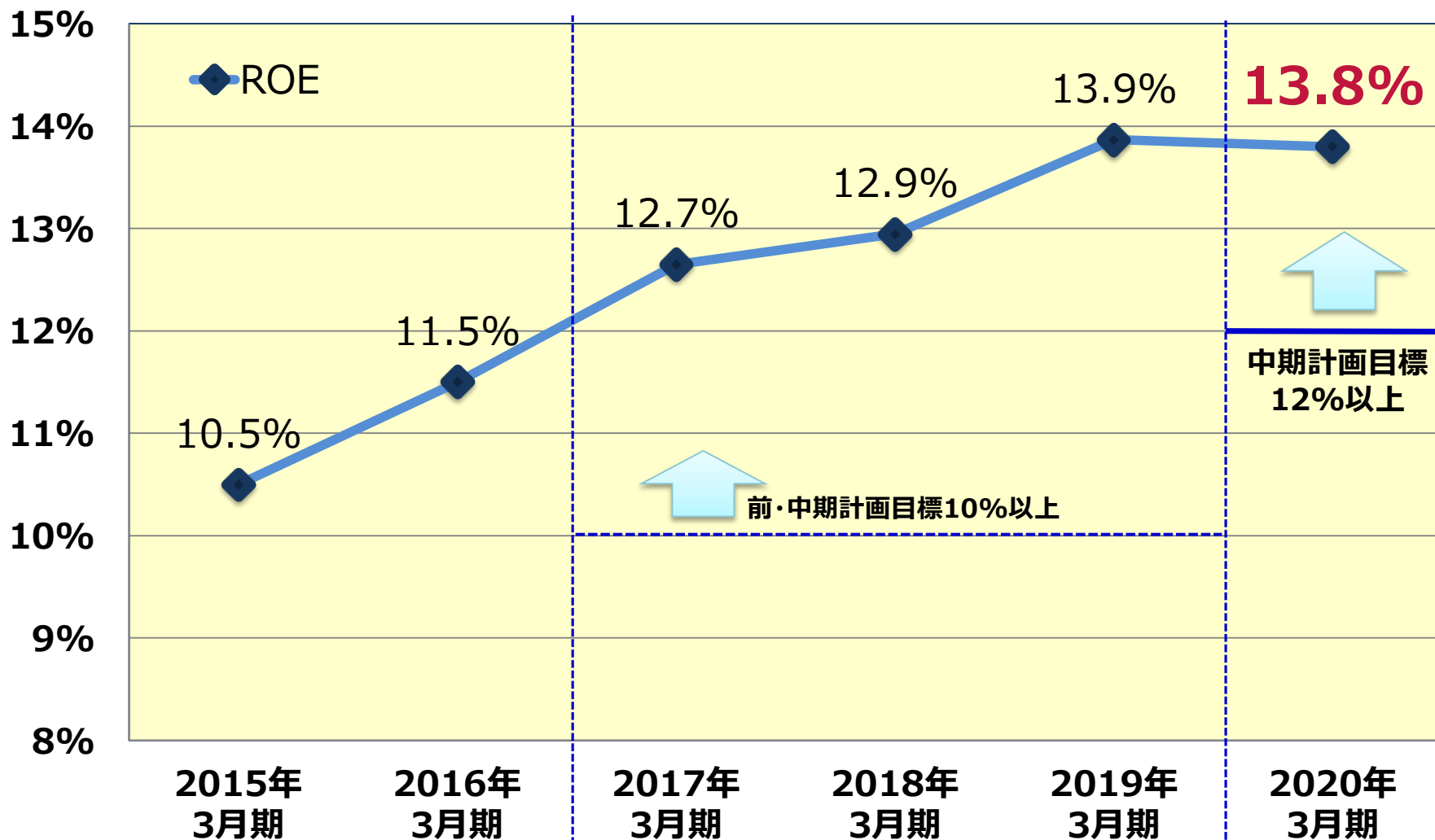
個別(DTS)は、売上増加に伴う利益増などにより+7.7億円。
 グループ会社では、前年の組込み関連における特需の反動減やNelitoの赤字影響があったものの、増収効果により前年同期比+1.1億円。

■ 個別営業利益
 ■ グループ会社営業利益（連結調整含む）
 ■ DTC決算期変更



連結ROEの推移

連結ROEは13.8%となり、中期計画目標の12%以上を達成。



2020年3月期 セグメント別売上高

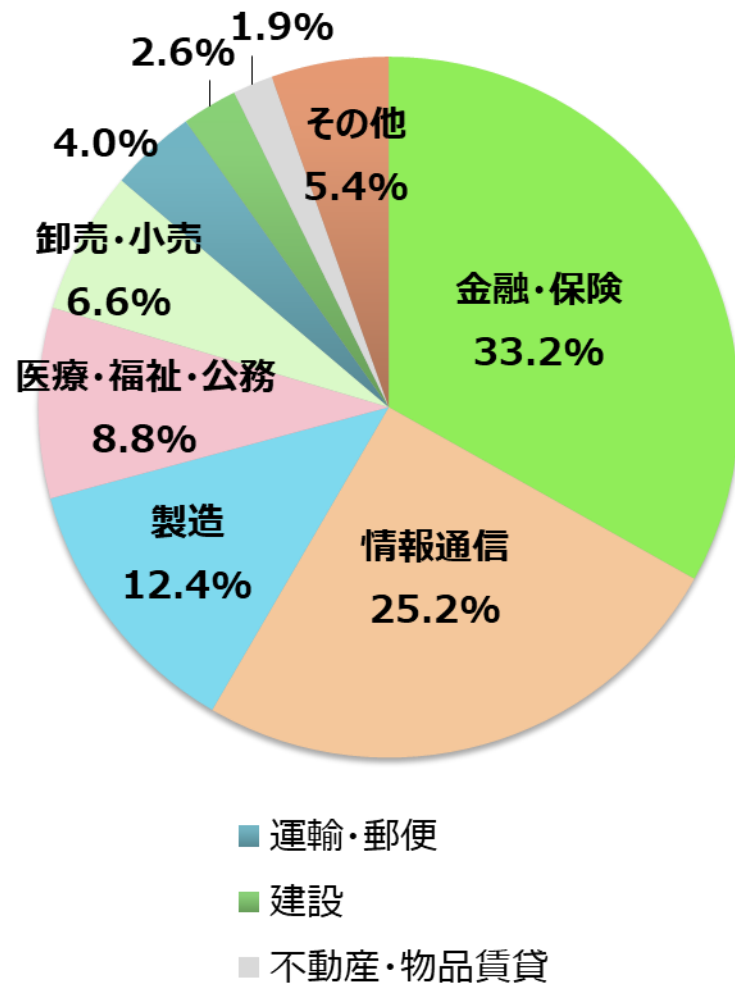
- ・金融社会では、政府系金融機関や証券の大型案件などの増加により増収。
- ・法人ソリューションでは、住宅関連などの案件が好調に推移し、増収。
- ・運用基盤BPOでは、DTC決算期変更影響を除くと前年同期並み。
- ・地域・海外等では、地域分野の順調な業績やNelitoの新規連結などで増収。

(単位：億円)	実績	売上比（前年同期比）		前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	946.1 <928.5>	—		+79.0 <+61.3>	109.1% <107.1%>	101.2%
金融社会	308.3	32.6% <33.2%>	(△1.6pt) <△0.9pt>	+12.2	104.1%	99.5%
法人ソリューション	276.4	29.2% <29.8%>	(△0.2pt) <+0.4pt>	+21.3	108.4%	101.3%
運用基盤BPO	248.7 <231.1>	26.3% <24.9%>	(+0.3pt) <△1.1pt>	+23.6 <+5.9>	110.5% <102.6%>	96.4%
地域・海外等	112.5	11.9% <12.1%>	(+1.4pt) <+1.6pt>	+21.7	123.9%	119.7%

(参考) 2020年3月期 エンドユーザ別連結売上高

経済産業省による業種分類別売上高

(単位：億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	307.8	33.2%	+13.5 (※)	104.6%
情報通信	234.4	25.2%	+7.4 (※)	103.3%
製造	115.1	12.4%	+9.1	108.6%
医療・福祉・公務	81.5	8.8%	+8.4	111.5%
卸売・小売	61.4	6.6%	+4.9	108.7%
運輸・郵便	36.8	4.0%	+2.3	106.8%
建設	23.7	2.6%	+10.7	182.9%
不動産・ 物品賃貸	17.1	1.9%	+5.3	144.7%
その他	50.2	5.4%	△0.6	98.8%
合計	928.5	100.0%	+61.3	107.1%

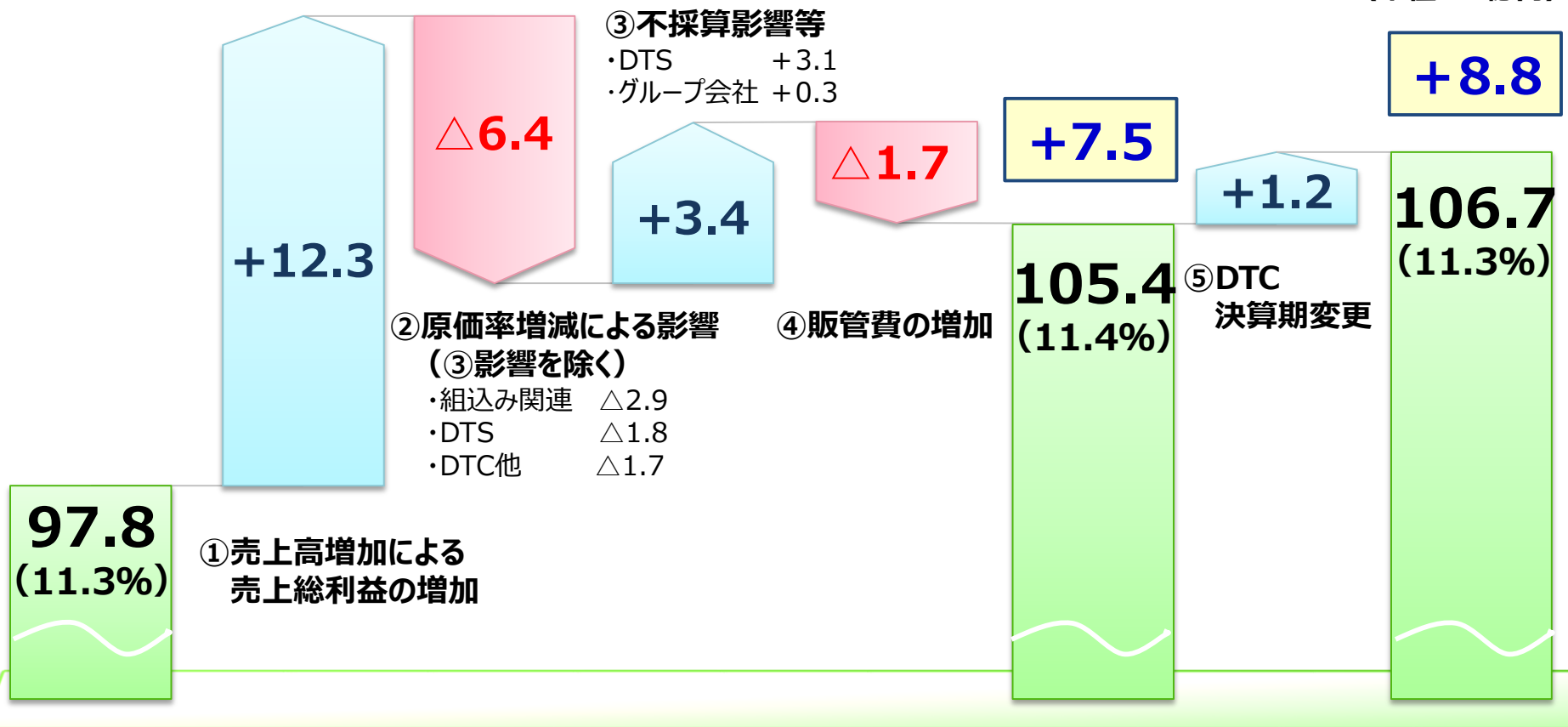


※Nelito新規連結分含む：金融・保険+6.5、情報通信+5.1

2020年3月期 連結営業利益の増減要因

売上増加に伴う利益増や不採算案件の抑制で、組込み関連分野における前年特需の反動減などをカバーし、前年同期比+8.8億円。

(単位：億円)



2019年3月期

2020年3月期

2020年3月期 セグメント別受注

【受注残高の状況】

- ・金融社会では、金融分野のOA案件完了やメガバンクの案件縮小などで減少。
- ・法人ソリューションでは、SAPなどソリューション案件の拡大で増加。
- ・運用基盤BPOでは、通信事業者を中心とした案件拡大などにより増加。
- ・地域・海外等では、Nelitoの新規連結などにより増加。

単位 (億円、%)	受注高				受注残高			
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
連結	961.0 <933.6>	-	+68.1 <+40.6>	107.6% <104.6%>	406.2 <396.5>	-	+26.8 <+17.1>	107.1% <104.5%>
金融社会	300.7	31.3% <32.2%>	△2.5	99.1%	146.5	36.1% <37.0%>	△7.6	95.0%
法人ソリューション	278.9	29.0% <29.9%>	+16.1	106.1%	75.4	18.6% <19.0%>	+2.4	103.4%
運用基盤BPO	269.7 <242.3>	28.1% <26.0%>	+34.8 <+7.4>	114.9% <103.2%>	153.9 <144.2>	37.9% <36.4%>	+20.9 <+11.2>	115.8% <108.5%>
地域・海外等	111.5	11.6% <11.9%>	+19.6	121.4%	30.3	7.5% <7.6%>	+11.0	157.1%

(参考)2020年3月期 グループ各社の業績

(単位：億円、%)	2020年3月期						2019年3月期	
	売上高			営業利益			売上高	営業利益
	金額	前年同期比		金額	前年同期比			
デジタルテクノロジー	114.8 <92.4>	+32.2 <+9.8>	139.0% <111.9%>	3.8 <2.6>	+1.4 <+0.2>	160.3% <108.4%>	82.6	2.4
D T S インサイト	70.5	+1.0	101.5%	8.0	△0.8	90.5%	69.5	8.9
日本 S E	54.9	+2.7	105.3%	4.0	+0.6	120.8%	52.1	3.3
D T S W E S T	33.8	+2.3	107.4%	3.5	+1.3	159.3%	31.5	2.2
九州 D T S	22.7	+1.3	106.2%	2.0	+0.2	114.7%	21.4	1.8
D T S アメ리카	6.0	+0.4	107.4%	0.2	△0.3	39.1%	5.6	0.6
M I R U C A	5.1	+0.2	104.6%	0.5	△0.0	94.1%	4.9	0.5
D T S 上海	1.8	△0.5	77.8%	0.0	△0.0	31.8%	2.4	0.1
Nelito Systems	13.3	-	-	△1.3	-	-	-	-

2. 2020年3月期 主要施策の状況

中期経営ビジョンのもと、社会の持続的成長に寄与し、企業価値向上を目指して3つの基本方針と5つの重点施策への取り組みを推進している。



中期経営 ビジョン

明日の社会に新たな価値を提供する
Next Value Creator

- ESG経営を推進し、DTSグループによる新たな価値創出（社会的価値・経済的価値）を実現する。

3つの 基本方針

中計ビジョン達成に向けた経営方針

- 持続可能な社会の実現
- 新たなS I e rへの進化
- 自律型人材への変革

5つの重点施策

方針達成に向けた施策・考え方

- 営業力・S I 力の強化
- 新規事業の創出
- グループ経営基盤の強化
- 社内システム・事務の刷新
- 働き方改革の実践

3つの基本方針を推進していくために、5つの重点施策を設定。
各分野単位で具体的な施策を計画し、取り組みを推進中。

5つの重点施策

営業力・SI力の強化

- ・ソリューション営業、アカウント営業の集約
- ・プロジェクトマネジメントの強化
- ・海外グループ会社活用（オフショア拡大）

新規事業の創出

- ・DX推進室によるデジタルビジネスへの適応・創出
- ・新技術（AI、IoT等）人材の育成
- ・社会課題(SDGs)を解決するソリューションの創出

グループ経営基盤の強化

- ・グループ再編によるグループ体制強化
- ・M&Aによるグループ強化
- ・ESGを意識した情報管理と開示

社内システム・事務の刷新

- ・業務プロセスの徹底的な合理化
- ・社内システムに先進的技術を積極的に活用

働き方改革の実践 (人事改革・健康経営)

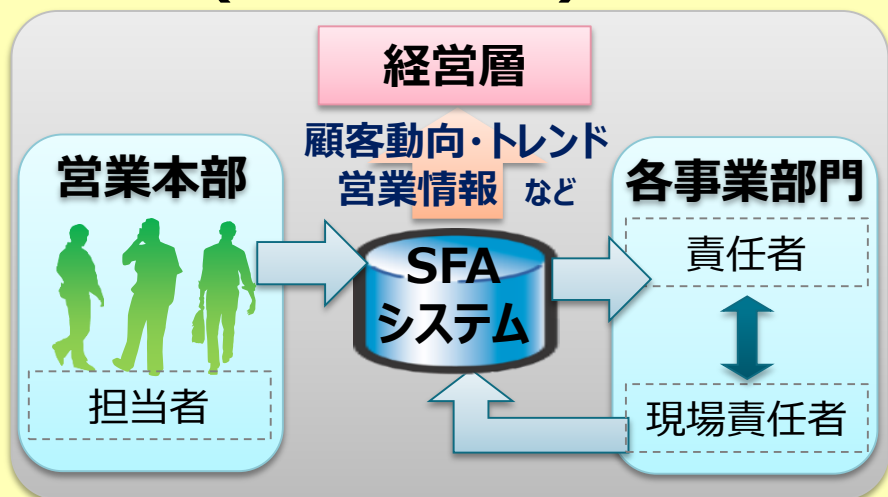
- ・人事評価制度の見直し（社員の挑戦を評価）
- ・多様な働き方を支援する仕組の導入（休職復職支援、テレワーク等）

営業力の更なる強化に向けて、各組織の営業活動を可視化し情報共有を促進するため、SFAシステム（Salesforce）を刷新。

中期計画最終年度の売上高目標の達成および持続的な成長を目指し、新規顧客の獲得に向けた取り組みを進め、前年同期比約1.6倍となった。

SFAシステムの刷新

営業効率の更なる向上のため、SFAシステム(Salesforce)を刷新。



社内で蓄積したノウハウを活用

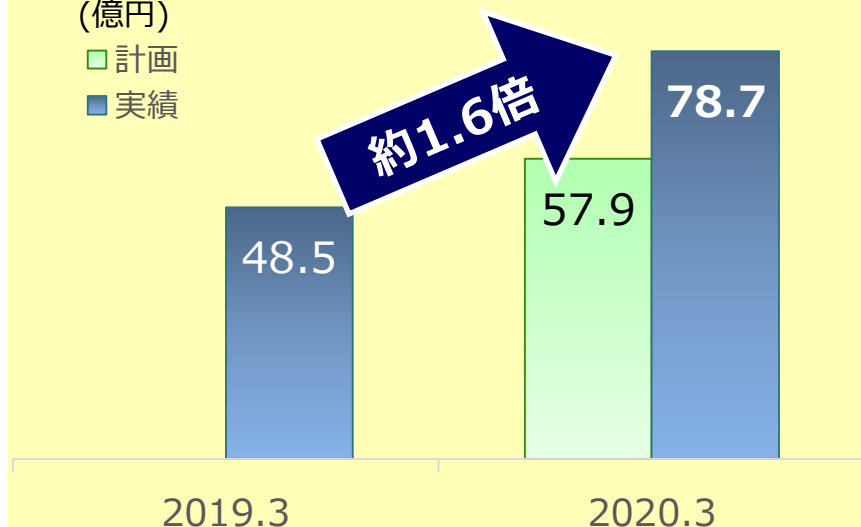
Salesforce関連ビジネスの拡大

新規顧客獲得

住宅関係など法人ソリューション分野を中心に顧客基盤のさらなる拡大を実現。

<新規顧客獲得 実績>

(億円)
□ 計画
■ 実績



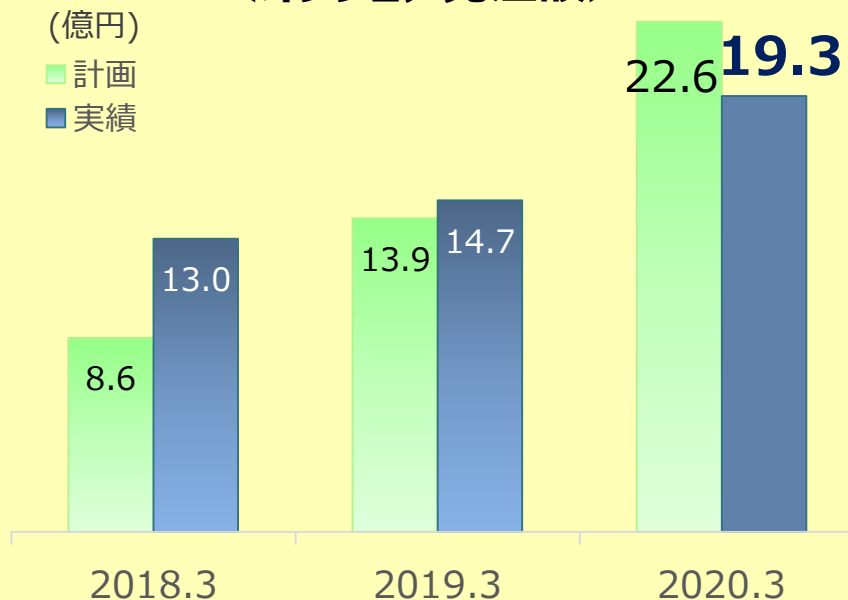
コスト競争力強化に向け、オフショア発注を推進。海外グループ会社を積極的に活用することで、IT人材基盤の強化やSI競争力の更なる向上を推進。
不採算案件額は目標の売上高比率0.5%以下に抑制。

オフショア発注

金融系大型案件における積極的な活用やDTSベトナムとの連携強化を推進。

＜オフショア発注額＞

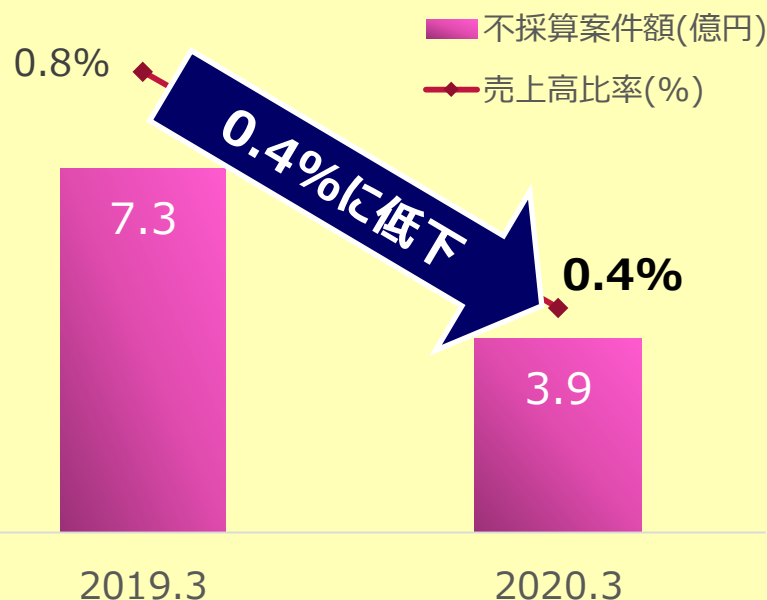
(億円)
■ 計画
■ 実績



不採算案件

マネジメント強化・リスクの見える化の徹底により不採算案件を抑制。

＜不採算案件額＞



2020年3月、住宅メーカーと共同で開発した基幹業務システムの提供を開始。
今後住宅メーカー向けソリューションとして展開を予定。

大手POSメーカーと連携し、AIを活用したデータ分析およびBIによる見える化で、店舗の販売施策を支援するクラウドサービスを開発。

住宅メーカー向け基幹業務システム

基幹システムをソリューション化し、
住宅関連の業務領域を拡大。

住宅メーカー向けソリューションの充実

基幹業務システム

住宅プレゼンCAD
Walk in home

人事・会計
ソリューション

トータルソリューションとして提供

Walk in home顧客

Store Intelligence

POSメーカーの幅広い顧客に低コストで新たな付加価値を提供。

DTS



- ・ 販売予測
- ・ 併売分析
- ・ レコメンド
- ・ 行動特性

POSメーカー



POSデータ
顧客データ

連携

サブスクリプション
提供

販売

POSメーカー顧客

DX・SoE型ビジネスへの潮流に適応するため、CAMBRICなど新技術を活用した案件の獲得や、そのような案件で活躍できる人材の育成に注力。DX関連の売上高は前年同期比約2倍、連結売上高比で22.7%となり、DX関連資格保有者数も前年同期比約3.3倍となった。今後も更なる拡大・対応加速を目指す。

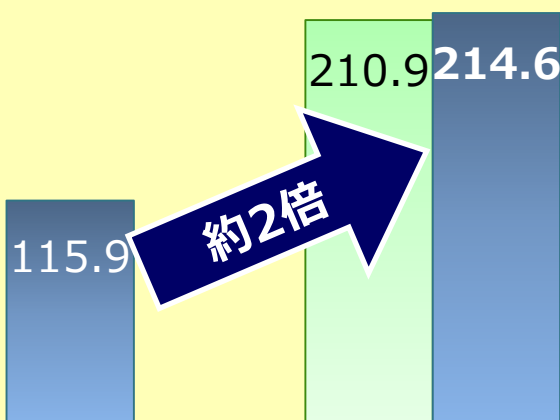
DX関連 売上高

クラウドやソリューションビジネスを中心に拡大。AI・IoT関連の強化に向けて推進中。

＜DX関連事業 売上高＞

(億円)

■ 計画
■ 実績



2019.3

2020.3

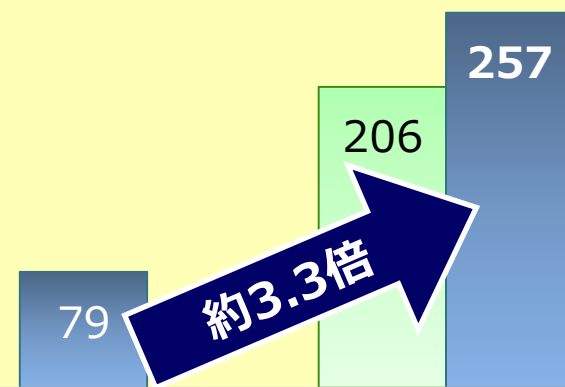
DX関連人材の育成

需要が拡大しているAI人材における資格保有者は100名を突破。

＜DX関連資格 保有者数＞

(名)

■ 計画
■ 実績



2019.3 期末

2020.3 期末

2020年2月、ステークホルダーとの建設的な対話促進のため統合報告書を発行。また、積極的な情報発信に向け、4月1日にDTSホームページをリニューアル。組織間の連携強化等に向け、既存センタ2拠点の新開発センタへの集約を推進中。新センタは6月末オープン予定。

統合報告書・HPリニューアル

当社への理解を深めてもらえるよう統合報告書を発行、ホームページのリニューアルを実施。

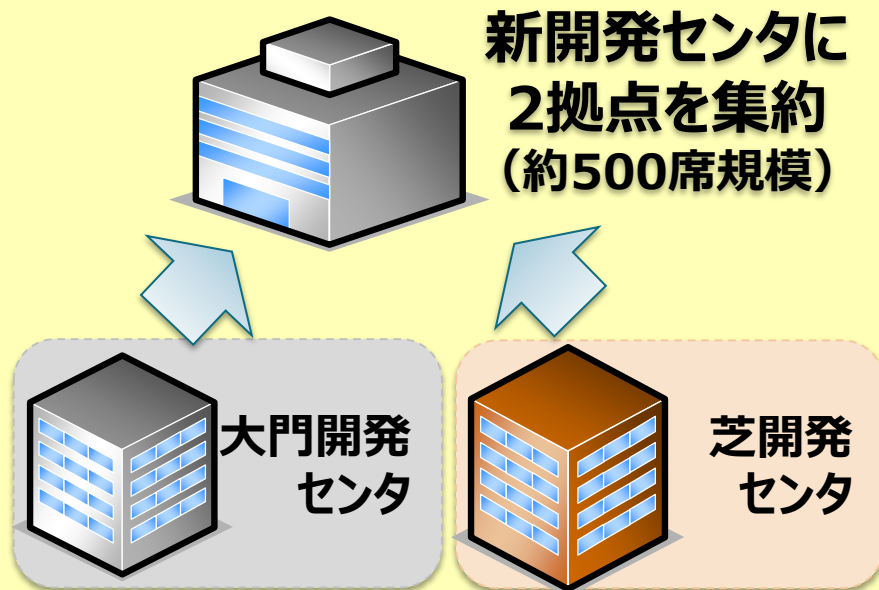
＜リニューアル後のDTSホームページ＞



＜統合報告書＞

開発センタの開設

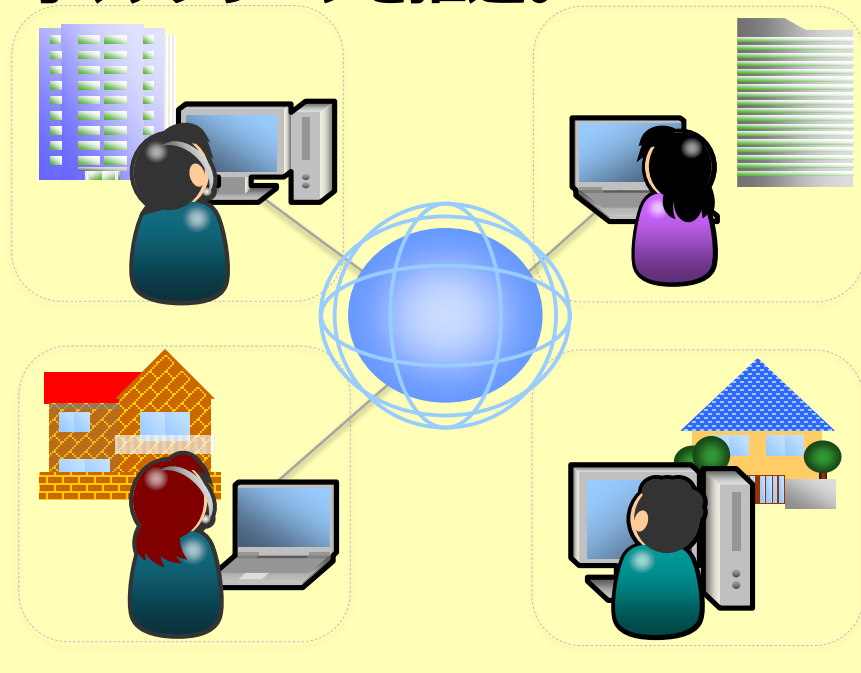
組織間連携強化・生産性向上のため、新開発センタの開設を推進中。



多様な働き方に対応するため社内PCをシンククライアント化し、テレワークを推進。健康経営への取り組みとして、ワークライフバランスを考慮した環境整備を進め、DTSは2019年10月「えるぼし」の2段階目、2020年3月に「健康経営優良法人2020」の認定取得。DTSWESTでは、2020年2月に「くるみん」認定を取得。

テレワークの推進

社内PCのシンククライアント化完了、テレワークを推進。



健康経営への取り組み

DTSは健康経営優良法人2020、女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」（2段階目）を取得。



DTS WESTは子育てサポート企業として「くるみん」認定を取得。

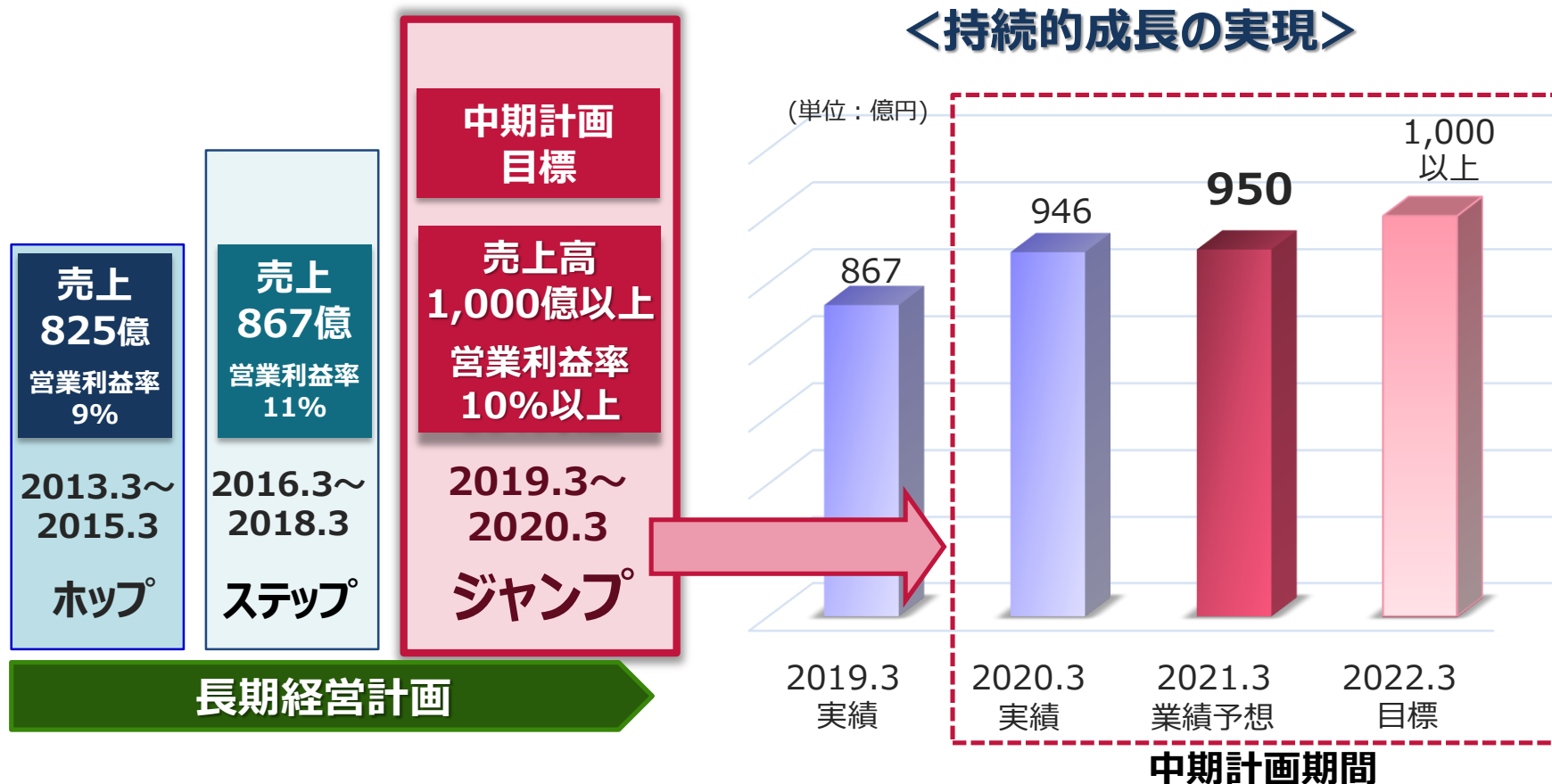


3. 2021年3月期 見通し

2021年3月期 売上高の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大による顧客業績の悪化でIT投資の抑制が想定されるものの、新技術を活用したデジタルビジネスの進展、レガシーシステムからの転換に向けた投資は継続すると見込む。

2020年3月末の受注残高は前年を上回っており、将来へ向けた変革を果たす中計2年目として、前年と同水準の売上高確保を目指す。



業種	I T 投資の見通し
金融 ・保険	<ul style="list-style-type: none">・銀行は既存業務縮小、資産運用やデジタルサービスへ投資集中を見込む・キャッシュレス決済推進による投資が継続・保険は、生保・損保ともに、既存収益モデルからの方向転換に向け新たな需要を模索
情報 通信	<ul style="list-style-type: none">・通信分野はリモートビジネス等における通信インフラ増強需要を見込む。また、5GやIoT・DXを活用した新たなサービスやビジネス展開を推進
製造	<ul style="list-style-type: none">・自動車関連での開発投資は自動運転・ADASに集中し、それ以外は縮小に向かう可能性が高いと想定
その他	<ul style="list-style-type: none">・医療・福祉・公務では、年金、共済、官公庁などにおける保守開発や機器更改など堅調な推移を見込む・SAP ERPの保守サポート切れに対応するため、各業種で既存製品から「SAP S/4 HANA」への移行の動きが加速し、好調に推移する見込み

中期計画で策定した5つの重点施策に基づき、前年の取り組み結果を踏まえたうえ、4つのポイントを設定。各分野で具体的な施策を計画し、取り組みを推進。

営業力・SI力の強化 新規事業の創出

① DX化の加速

- ・CAMBRIC関連など新技術を活用した売上高増加
- ・DX関連技術者の育成
- ・新たなソリューションの創出

グループ経営基盤の強化

② グローバルビジネス体制の強化

- ・海外グループ会社体制強化
(M&A・アライアンス含む)
- ・新規連結3社
(DLSE、DLSEジャパン、DTSベトナム)

社内システム・事務の刷新

③ 社内システム開発にDX関連 技術を活用

- ・AIを活用した事務効率改善など、生産性・品質向上と共にDX関連技術経験を蓄積

働き方改革の実践 (人事改革・健康経営)

④ 自律型人材への変革に向けた 土台作り

- ・チャレンジや自律性を適切に評価する仕組みや風土づくり、各種手当の見直しを推進

2021年3月期 通期業績予想【連結】

売上高は、前年同期比+3.8億円とし、前年並みの売上高を維持する。
 営業利益は、前年同期比+0.2億円とし、5年連続で10%以上かつ、中期計画目標である100億円以上を2年連続で維持する。

(単位：億円)	金額	売上比（前年同期比）		前年同期比	
				増減	比率
売上高	950.0	—		+3.8 <+25.7>	100.4% <102.8%>
売上総利益	187.0	19.7%	(△0.1pt)	△0.0	100.0%
販管費	80.0	8.4%	(△0.1pt)	△0.3	99.6%
営業利益	107.0	11.3%	(+0.0pt)	+0.2 <+1.6>	100.2% <101.6%>
経常利益	108.5	11.4%	(+0.1pt)	+0.0 <+1.4>	100.0% <101.4%>
親会社株主に帰属する 当期純利益	74.0	7.8%	(+0.0pt)	+0.8 <+1.7>	101.1% <102.4%>

2021年3月期 通期業績予想【セグメント別】

- ・金融社会では、金融機関における従来型システムへの投資抑制で減収予想。
- ・法人ソリューションでは、ソリューションビジネスなどで更なる伸長を目指す。
- ・運用基盤BPOでは、情報通信業を中心とした案件拡大により増加見込み。
- ・地域・海外等では、新規連結に加え、地場の営業強化による拡大を目指す。

(単位：億円、%)		前年実績	業績予想	構成比	前年同期比	
売上高		946.1	950.0	—	+3.8 <+25.7>	100.4% <102.8%>
金融社会		308.3	304.0	32.0%	△4.3	98.6%
法人 ソリューション		276.4	286.5	30.2%	+10.0	103.6%
運用基盤BPO		248.7	237.5	25.0%	△11.3 <+10.6>	95.5% <104.7%>
地域・海外等		112.5	122.0	12.8%	+9.4	108.4%

2021年3月期 配当予想

2020年3月期は、中期計画目標である総還元性向45%以上の利益還元を実現するため、期末配当は当初予想から5円増額の35円とし、年間配当は55円とする。

2021年3月期は、前年と同額の55円、総還元性向は47.5%を予定。

	第2四半期末	期末	年間	総還元性向 (連結)	配当性向 (連結)
2021年3月期 (予想)	25円	30円	55円	47.5% ※1	34.1%
2020年3月期 ※2	20円	35円	55円	45.7% ※3	34.8%

※1：2020年5～6月に自己株式約10億円を取得予定

※2：2020年3月期は株式分割後換算額

(2019年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため)

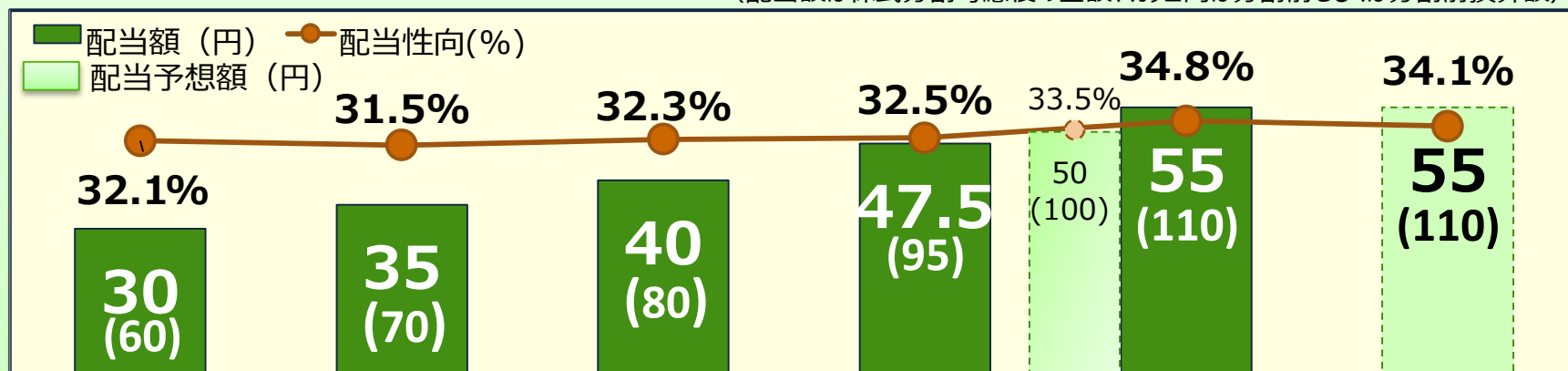
※3：2019年5月に自己株式177,600株(約8億円)を取得済

配当額・配当性向・総還元性向等の推移

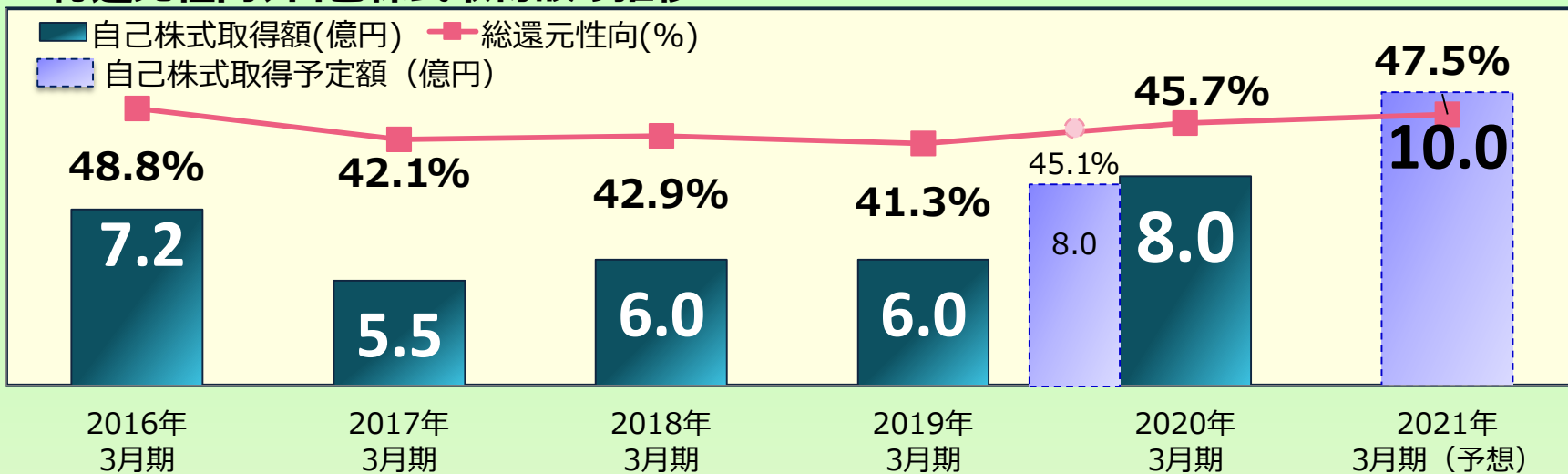
安定配当を継続的に実施するとともに自己株式の取得も実施し、中期計画目標である総還元性向45%以上を目指す。

■ 配当額、配当性向の推移

(配当額は株式分割考慮後の金額、カッコ内は分割前もしくは分割前換算額)



■ 総還元性向、自己株式取得額の推移



その他資料

(参考) 主なプレスリリース等①

公表日	会社名	タイトル・概要
2020年		
4月30日	D T S	<p>「剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」</p> <p>中期計画目標である総還元性向45%以上の利益還元を実現するため、期末配当を5円増額し35円（年間配当を50円から55円）とすることを決定。</p>
4月30日	D T S	<p>「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」</p> <p>資本効率の向上、株主の皆様へより一層の利益還元を図るため、自己株式の取得を実施。（取得予定数:535千株、取得総額:1,000百万円、期間:2020年5月1日～2020年6月12日）</p>
4月24日	D T S	<p>「IoTとAIの力で製造現場のDX化（デジタル・トランスフォーメーション）を実現。製造現場向けIoT Platform『Pasteriot』を販売開始」</p> <p>製造現場（エッジ）のデジタル化を支援するIoT Platform「Pasteriot（パステリオ）」を4月24日より販売開始。メーカーが異なる製造機器においても生産状況のデジタル化が可能。また、製造現場の制御ルール化の設定やAI活用等により、業務効率化・生産性向上を実現。</p>
4月9日	デジタルテクノロジー	<p>「様々なPC利用形態に対応したテレワーク就業時間取得システムを販売開始」</p> <p>在宅勤務中の就業時間把握に最適なテレワーク就業時間取得システムを4月9日より販売開始。定期的にPC（物理・仮想）の稼働状況を収集し、ログイン、ログアウトだけでなく使用アプリケーションや閲覧URL、無操作率などを各ユーザごとに取得しレポートにまとめて送付するなど、管理者の負担軽減を支援。</p>
3月1日	D T S W E S T	<p>「『大阪市女性活躍リーディングカンパニー』『イクメン推進企業』の認証取得」</p> <p>女性が活躍する企業を応援する「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の2つ星および男性の育児や家事、地域活動への参画支援を行っている企業として「イクメン推進企業」認証を取得。</p> <p>法定を上回る出産・育児関連制度（産前休暇：10週間、育児短時間勤務：小学校3年生まで）の充実、男性社員の育児休暇の取得が今回の取得に繋がった。</p>

(参考) 主なプレスリリース等②

公表日	会社名	タイトル・概要
2020年		
2月28日	D T S	<p>「DTS Group REPORT 2019（統合報告書）を掲載」</p> <p>統合報告書（2019年度版）を発行、当社ウェブサイトに掲載。</p>
2月25日	D T S インサイト	<p>「JTAG デバッグツール『adviceXross』の販売を開始」</p> <p>JTAGデバッグツールadviceLUNAⅡの後継機種として応答性能の大幅な向上と大規模な組込みソフトウェア開発での使いやすさを追求した『adviceXross（アドバイス クロス）』を開発、2020年2月25日より販売開始。基本機能の強化により応答性能を大幅に向上。さらに、ハイパーバイザー対応、テスト自動化機能など新機能を搭載することでデバッグやテスト効率向上を支援。</p>
2月12日	D T S	<p>「AIとBIを活用し、店舗業務の脱・属人化や省力化を支援 小売業・リアル店舗向けデータ分析サービス『Store Intelligence』を販売開始」</p> <p>POSシステムや顧客管理システムから取得される販売情報・会員情報などをもとに、「AIによる分析」機能と「BIによる見える化」機能を活用し、店舗業務の脱・属人化や省力化を支援するクラウドサービス「Store Intelligence」を開発。また、ストアインテリジェンスの販路拡大の第一弾として、東芝テック株式会社と販売契約を締結、東芝テックから2月12日より販売開始。</p>
2月4日	D T S WEST	<p>「『くるみん』認定を取得」</p> <p>「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けた。一般事業主行動計画（妊娠中・出産後の女性社員に対する制度や相談体制の整備、ノー残業デーの設定や年次有給休暇の取得促進等）の目標を達成したことで、今回認定を取得。</p>
1月14日	D T S インサイト	<p>「フラッシュオンボードプログラマ『NETIMPRESS acorde』販売開始予定」</p> <p>フラッシュオンボードプログラマ「G-NETIMPRESS」の後継モデルのマルチチャンネルプログラマ『NETIMPRESS acorde』（ネットインプレス アコルデ）を、2020年2月20日より販売開始。通信ボーレート、内部処理を高速化しフラッシュマイコンへの書き込み時間を短縮。</p>

(参考) 主なプレスリリース等③

公表日	会社名	タイトル・概要
2019年		
12月16日	D T S W E S T	<p>「京都市『地域企業輝き賞』を受賞」</p> <p>京都市消防局様や京都市向け防災情報のシステム開発などへの取り組みが評価され、京都市から「京都市 輝く地域企業表彰」における「地域企業輝き賞」を受賞。</p>
12月9日	D T S	<p>「社内ヘルプデスクをデジタル変革するBPOサービス『ReSM plus』販売開始」</p> <p>情報システム部門や総務部門等の社内ヘルプデスク担当向けに、社内FAQや業務マニュアル等の活用をデジタル技術でサポートするBPOサービス「ReSM plus(リズムプラス)」を12月9日より販売開始。</p>
11月27日	D T S	<p>「女性活躍推進法に基づく『えるぼし』認定を取得」</p> <p>えるぼし認定の5つの評価項目のうち「1.採用」「2.継続就業」「3.労働時間等の働き方」「5.多様なキャリアコース」の4つが評価され、2019年10月17日付で3段階中、2段階目の認定を取得。</p>
11月11日	D T S インサイト	<p>「JTAG デバッグツール『adviceXross』を開発」 (提供開始:2020年春予定)</p> <p>JTAGデバッグツールadviceLUNA IIの後継機種として『adviceXross(アドバイスクロス)』を開発。ハードウェアとadviceシリーズ用GUIデバッガを再設計し、基本機能を強化することで応答性能を大幅に向上。さらに、ハイパーバイザー対応など新機能を搭載し、デバッグやテスト効率向上を支援。</p>
10月7日	D T S W E S T	<p>「ランゲージワン株式会社が提供を開始する多言語AIチャットボットサービスに『kotosora』を採用」</p> <p>多言語電話・映像通訳サービスのランゲージワン株式会社が提供する「多言語AIチャットボットサービス」にDTS WESTのAI FAQ ソリューション「kotosora」が採用された。</p>

(参考) 主なプレスリリース等④

公表日	会社名	タイトル・概要
2019年		
9月25日	D T S インサイト	「SiFiveと日本市場の正規代理店としてパートナーシップ契約を締結」 DTSインサイトは、商用目的のRISC-VプロセッサIP及び半導体シリコンソリューションのリーディングカンパニーであるSiFive（米国）と日本市場におけるSiFiveのRISC-V IP及びツール販売に関するパートナーシップ契約を締結
9月5日	D T S WEST	「国内初 LGWAN上で動作する『kotosora for LGWAN』を提供開始」 LGWAN（総合行政ネットワーク）上で利用できる多言語 AI チャットボットサービス「kotosora for LGWAN」の提供を開始。本サービス導入により、単純で定型的な業務をチャットボットで対応することで、自治体職員が住民サービス提供などの「人」にしか出来ない業務に注力することを支援
8月5日	D T S インサイト	「システムLSI設計ソリューションサービスの受注を開始」 システムLSIやFPGA、周辺回路/基板のハードウェア設計・製造と、OS ポーティング・ドライバ開発などのソフトウェア開発をワンストップで提供。本サービスにより、お客様は複数のベンダーとの調整や管理負担が軽減され、最適なハードウェアとファームウェアを実装したLSI設計が可能
4月26日	D T S	インド Nelito Systems Limitedを子会社化 Nelito Systems Limitedの株式を追加取得し、子会社とすることを決定。DTSグループの金融事業分野において、さらなる事業シナジーの実現により、グローバルビジネス拡大を目指す

2020年3月期 決算説明会

ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS Group

The logo features the text "MADE BY DTS Group" in a bold, red, sans-serif font. The text is positioned above a large, stylized red swoosh that curves from the left towards the right, ending in a pointed tip. The swoosh has a slight gradient and a shadow effect, giving it a three-dimensional appearance.